



CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

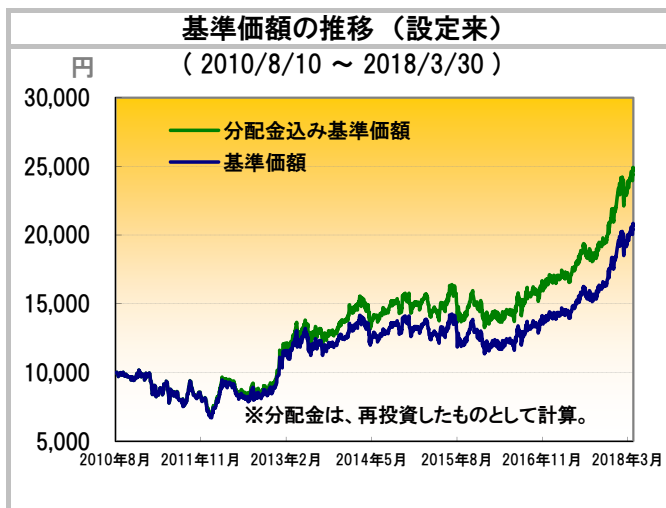
【3月の市況ダイジェスト】

3月のベトナム株式市場は上昇(月間騰落率+4.72%)し、VN指数は1,174.46ポイントで引きました。

商品概要

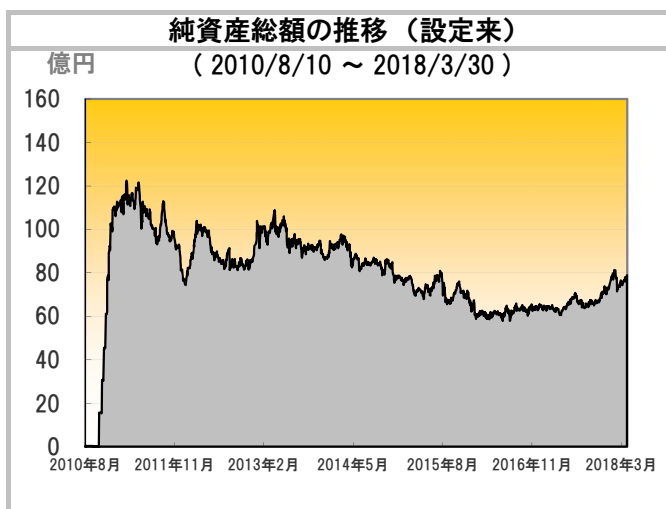
商品概要	
商品分類	追加型投信／海外／株式
投資対象	CAMベトナムマザーファンドへの投資を通じて、実質的にベトナムの取引所に上場している株式及び世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式を主要投資対象とします。
設定日	2010年8月10日
信託期間	2010年8月10日～2020年6月10日
決算日	原則、毎年6月10日および12月10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額・純資産総額の推移等



ファンドの現状 (2018/3/30)	
基準価額	20,683 円
前月末比	+725 円
純資産総額	78.4 億円
前月末比	+2.6 億円

分配実績 (1万口あたり、税引き前)		
第1期～第9期		1,400 円
第10期	2015年6月10日	200 円
第11期	2015年12月10日	200 円
第12期	2016年6月10日	100 円
第13期	2016年12月12日	100 円
第14期	2017年6月12日	50 円
第15期	2017年12月11日	50 円
合計		2,100 円



運用実績	
期間	ファンド
1ヵ月	3.6%
3ヵ月	11.0%
6ヵ月	27.7%
1年	43.0%
設定来	147.2%

※分配金は再投資したものとして計算しています。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

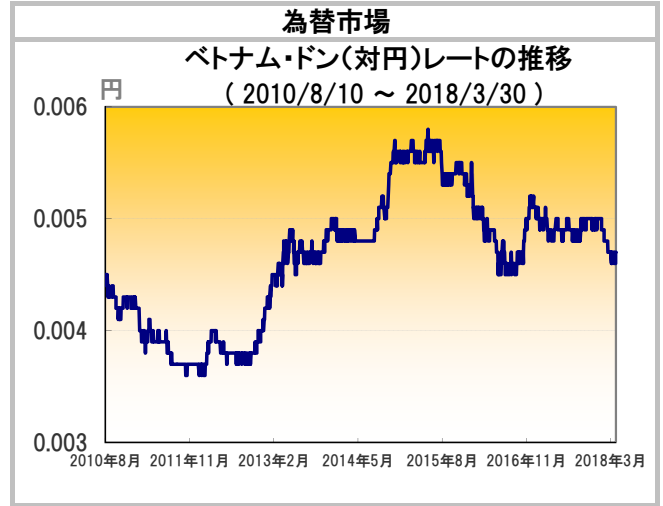


CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

株式と為替の推移



ファンド組入状況 (表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。)

銘柄名	組入比率
CAMベトナムマザーファンド	100.0%
現金・その他	0.0%

【CAMベトナムマザーファンド】

資産別組入状況		投資比率
株	式	99.0%
現金	・その他	1.0%
合計		100.0%

業種構成		構成比率
銀行		26.3%
食品・飲料・タバコ		17.4%
不動産		15.3%
公益事業		8.5%
運輸		6.2%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器		5.3%
素材		3.7%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		3.3%
その他		14.0%
合計		100.0%

組入銘柄数
45

組入上位10銘柄

銘柄名	業種	対純資産比率
ビナミルク(ベトナム乳業)	食品・飲料・タバコ	9.8%
ビンググループ	不動産	9.7%
ベトロベトナム・ガス	公益事業	8.1%
ベトナム外商銀行(ベトコムバンク)	銀行	7.9%
軍隊商業銀行(ミリタリー・コマーシャル)	銀行	6.8%
FPT	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.3%
マッサングループ	食品・飲料・タバコ	5.1%
HDバンク	銀行	5.0%
ベトナム産業貿易商業銀行	銀行	4.9%
ベトジェット航空	運輸	4.2%

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。



CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

■ベトナム株式市場

3月のベトナム株式市場は、好調な経済成長や大手企業の新規上場、外国人投資家による買い越し、さらに、定時株主総会シーズンに発表された2018年事業計画などに関する情報も支援材料になり、月末終値で史上最高値を更新しました。一時、米中貿易紛争深刻化への懸念から下落した場面もありましたが、投資家による根強い買いに支えられ不動産や食品など大型優良株中心に、堅調な相場展開になり、3月末時点のVN指数は前月末比4.72%高の1,174.46ポイントで引けています。一方で、ベトナム株式市場の流動性も著しく改善しており、売買代金が4億米ドルを超える営業日が頻繁にあり、株式市場全体が拡大しています。経済指標面では、1-3月期の国内総生産(GDP)成長率(推定値)は前年同期比+7.38%で、直近10年間で1-3月期として最高値を記録しました。個別銘柄では、マッサングループ(前月末比27.24%高)や不動産大手のビンググループ(前月末比23.5%高)、ペトロベトナム・ガス(前月末比15.36%高)などの大型銘柄中心に上昇しました。

■運用状況

株式組入比率は、高位に維持し、成長性や流動性が継続して見込める銘柄を中心に組み入れています。今月は、長期的に安定した収益の成長が見込めるビナミルク(ベトナム乳業)とIT大手FPTを増やしました。特に、IT大手FPTについては、4月に予定されているFPTの小売り子会社のFPTリテールの上場から恩恵を受けると見えています。尚、FPTリテールの2017年業績は、売上高が前年比+21%増、税引後利益が同+40%増で増収増益を達成しており、市場ではホットな銘柄になると見ているようです。

■今後の見通し、運用方針

ベトナム株式市場は、外国人持ち株比率の制限が緩和される中、上場企業数の増加や政府の保有割合の低下が海外からの資金流入を促すと見られており、中長期的に堅調な相場展開を予想しています。その理由の一つとして今後IPOや上場ラッシュが予定されており、完売もしくはオーバーサブスクライブが予想されています。有望なIPOや上場としては、テクコムバンクやIT系メディア関連のYeah One、FPTリテール、ビンホームなどが挙げられます。現地大手証券会社の著名アナリストは、今年の1株当たり利益の伸び率は25%程度と高い伸び率を見込んでおり、外国人投資制限比率の緩和とIPOの相乗効果で今年は堅調な相場展開を予想しているようです。加えて、中長期的な注目点としては、MSCI指数での「新興国市場」への格上げ期待があげられます。現在、ベトナムは、MSCI指数においてフロンティア市場に分類されています。市場規模の拡大に加え、外国人持ち株比率の制限緩和などにより外国人投資家のアクセスが改善されれば将来新興国市場への格上げが期待できます。MSCI社はベトナムの格上げについては、外国人保有率上限の引き上げの進捗状況や英文のディスクロージャーの充実、浮動株比率の増加などの改善を同社は注視しているようです。従って、中長期的な観点からこれらの材料を背景に堅調な相場展開を予想しています。リスク要因としては、トランプ米政権による保護主義政策などが挙げられます。今後の運用方針としては、銀行や保険、不動産セクターに注目しています。消費者向け金融市場の拡大とバンカシュアランス(銀行による保険の窓販)による収入が増加傾向となり業績が上向くと見込まれることから銀行や保険セクターの投資比率を高め維持する予定です。また、2018年の不動産関連の海外直接投資(FDI)が過去最高を記録する模様です。従って、今後不動産セクターが良くなると見えており、不動産セクターに継続投資する予定です。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。



CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

月次レポート

Capital Asset Management

▼ ファンドの特色

当ファンドはファミリーファンド方式により、主にCAMベトナムマザーファンドへの投資を通じて、実質的な投資を行いません。

【運用プロセス】

■ベトナム株式の中から比較的割安で投資魅力度の高い銘柄への投資に注力し、分散投資されたポートフォリオを構築することを目指します。

■トップダウン分析とボトムアップ分析を組み合わせたアプローチを用います。

●トップダウン分析ではマクロ経済動向および政治情勢等の見通しについて検討し、投資判断に活かします。

●ボトムアップ分析ではPER(株価収益率)などの指標分析やその他情報等を参考にして銘柄の配分を決定します。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。

▼ ファンドに係わるリスクについて

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により、変動することが想定されます。

株式の価格変動リスク 当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

為替変動リスク 当ファンドは、主に外貨建ての株式に投資します（ただし、これに限定されるものではありません）。投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

カントリーリスク 当ファンドが投資するベトナムの経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策や税制の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

信用リスク 株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

流動性リスク 急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク 解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

資金移動に係わるリスク 当ファンドの主要投資対象国であるベトナム政府当局が資金移動の規制政策等を導入した場合、一部解約、償還等の支払資金の国内への回金が滞ることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。



CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

◆ お客様にご負担いただく費用

①ご購入時に直接ご負担いただく費用

■購入時手数料:お買付申込日の翌営業日の基準価額に対して、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が個別に定める料率を乗じて得た金額

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■信託財産留保額:解約請求日の翌営業日の基準価額に対して0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■信託報酬:信託財産の純資産総額に対して年率2.5704%(税抜き2.38%)

■実績報酬:ハイウォーターマーク方式による実績報酬21.6%(税抜き20%)

■その他費用:有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用(手数料等)の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することができません。
※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

- 1.当ファンドは、海外の株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。
- 2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡します。必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。
- 4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

◆ 委託会社その他関係法人の概要

■委託会社: 当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第383号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会

■受託会社: 当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理業務等を行います。

三菱UFJ信託銀行株式会社

■販売会社(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	協会	日投	一般社団法人	協会	金融先物取引業	一般社団法人	取引業協会	第一種金融商品
安藤証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商) 第1号	○								
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商) 第6号	○								
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第44号	○				○			○	

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。



CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

Capital Asset Management

■販売会社(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	協会 日本 一般 投資 顧問 業	協会 一般 社団 法人 業	金 融 先 物 取 引 業	一 般 社 団 法 人 業	取 引 業 協 会	第 一 種 金 融 商 品
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商) 第3号	○						
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第61号	○			○			
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第62号	○						○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第121号	○						○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第165号	○	○		○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商) 第20号	○						
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第2336号	○	○		○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第195号	○	○		○			○

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。